

工場見学会中止のお知らせ

2021年秋期の株主様向け工場見学会は、新型コロナウイルス感染症拡大の防止及び皆様の安全確保の観点から、中止とさせていただきます。

中間配当決議通知はがき 郵送廃止のお知らせ

当社の中間配当に関する取締役会決議のご通知につきましては、2019年3月期まで株主の皆様へ「中間配当金支払いに関する取締役会決議ご通知」と題した郵便はがきをお送りしておりましたが、2020年3月期より同はがきの郵送を廃止いたしました。
今後は、同はがきの郵送に代えて当社ホームページの「IR情報(<https://www.g-tekt.jp/ir/index.html>)」にてご案内申し上げます。

ホームページのご案内



決算情報やプレスリリースなどIR情報につきましては、当社ホームページからご覧いただけます。

<https://www.g-tekt.jp/>



「ストーリーでわかるジーテクト」

皆様に当社への理解をより深めていただけるように、当社の成長の軌跡や目指す姿などをわかりやすくご説明しているコンテンツです。

<https://www.g-tekt.jp/ir/individual/index.html>



株式会社ジーテクト

本社 〒330-0854 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-11-20

UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



第10期 株主通信

2020年4月1日～2021年3月31日

株式会社ジーテクト

証券コード：5970

株主の皆様へ



代表取締役社長
高尾 直宏

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、心より御礼申し上げます。

自動車市場が次なる成長の屈折点を迎える中で、新型コロナウイルスの感染拡大は一時的に大きな打撃となりました。幸い、当社は生産回復が想定以上に早まり、2021年3月期は4月～5月を底に、第2四半期でV字回復しました。

中国は昨年4月から増産体制を維持し、売上高・営業利益ともに過去最高となりました。北米は生産回復とともに品質問題に目処をつけ、生産体質の改善が鮮明となりました。欧州はスロバキアG-TES社が、操業開始2年弱で早くも黒字化しました。アジアや南米は生産再開が遅れ、緩慢な回復となりました。

この結果、当期連結売上高は2,094億円(前期比8.3%減)、営業利益は81億円(同7.2%減)となりました。経常利益は87億円(同1.0%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は65億円(同15.9%増)となりました。

2022年3月期(次期)は、半導体供給に関するリスクがありますが、受注生産台数の増加やさらなる体質改善等を強力に推進し、連結売上高は2,387億円(前期比14.0%増)、

営業利益は124億円(同54.0%増)、経常利益は121億円(前期比39.8%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は86億円(同31.7%増)を見込んでいます。

自動車市場の大変革や気候変動問題、新型コロナウイルス感染症等、外部環境はこの数年で大きく変化しました。新たな道筋を示すべく、新経営戦略を掲げることとしました。

株主還元については、当期の配当を中間・期末ともに1株当たり1円ずつ増配し、年間で50円とする予定です。お陰様でジークスは2011年4月1日の発足から10周年を迎えることができ、株主の皆様には深く御礼申し上げます。皆様への感謝の意を表して、次期は発足10周年の記念配当を実施し、中間・期末ともに、1株当たり3円ずつの通期で6円の記念配当を予定しています。

厳しい経営環境が続きますが、躊躇なく改革を断行し、スピード感をもって力強く舵取りを行ってまいりますので、今後とも皆様からのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2021年6月

新経営戦略

◆EV関連事業の確立

- ・車体一台解析技術を基に、EV専用プラットフォームを開発
- ・バッテリー関連部品及びパワートレイン関連事業への取り組み

◆既存事業の変革

DX(デジタルトランスフォーメーション)による体質変革

- ・原価：最適なリソース配分や工程の見直しなど源流を強化
- ・品質保証：不具合を未然に防ぐ予知予防の領域へシフト

◆人材の多様性向上

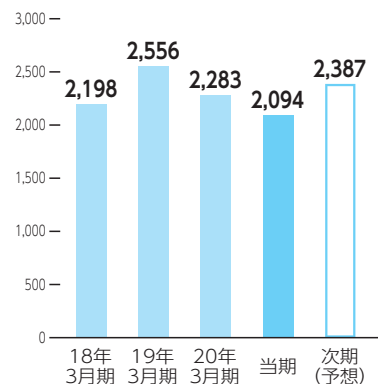
- ・多様な人材への投資と活躍できる環境を整備
(※次ページのトピックスご参照)

◆地球環境への対応

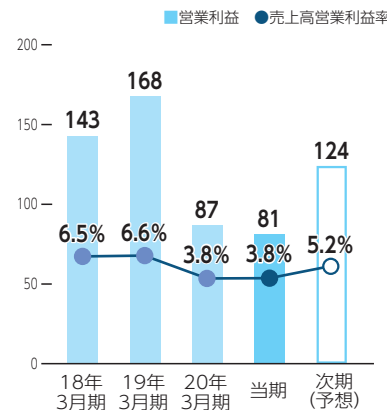
GX(グリーントランスフォーメーション)による企業価値向上

- ・2050年度にCO₂排出量実質ゼロを目指す

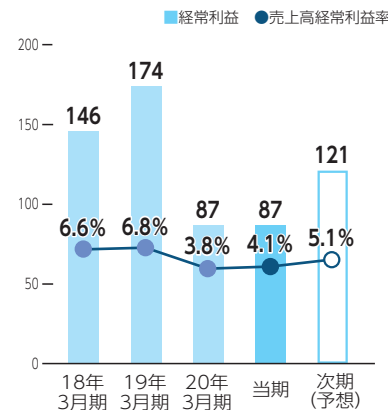
売上高(億円)



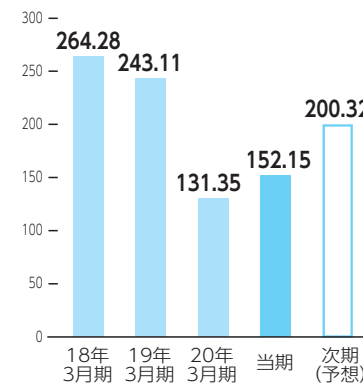
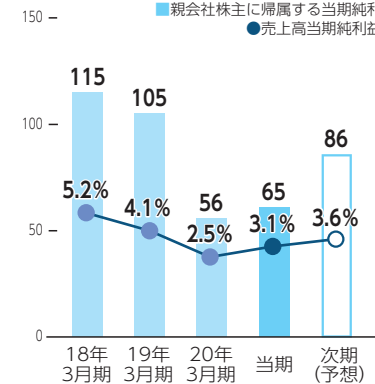
営業利益／売上高営業利益率(億円)



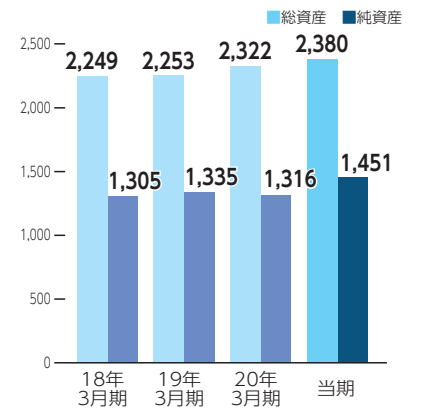
経常利益／売上高経常利益率(億円)



親会社株主に帰属する当期純利益／1株当たり当期純利益(円)
売上高当期純利益率(億円)



総資産 純資産(億円)



中国におけるEV関連事業の確立



名 称：广州南沙艾帕克汽车配件有限公司
 所 在 地：中国広東省広州市
 代 表 者：水木尚樹
 資 本 金：約227百万元（37億円）
 投 資 額：約376百万元（61億円）
 土地面積：約45,000㎡
 主要設備：大型プレス機、溶接ライン
 操業開始：2023年4月（予定）

EV市場が急拡大している中国において、車体部品のさらなる需要拡大が見込まれることから、広東省広州市に同国で6つ目となる生産工場を建設することを決定いたしました。

既存の広州市2工場との生産体制を得意先毎に再編し、最新鋭設備による効率的で高品質な現地生産体制を整えます。

旺盛な中国需要を取り込み、EV化時代における中国ビジネス拡大を加速させてまいります。

多様性の確保についての考え方

当社は、環境変化の激しいモビリティ業界において、顧客価値を高め社会に貢献し続けるため、人材の多様性の確保を推進してまいります。

企業の最大の経営資源は「人財」であります。当社は人種、国籍、年齢、性別、文化、宗教、障がい、考え方や経験などを超えた、多様なバックグラウンドを持つ社員が、互いに尊重し合い、能力や個性を発揮し、働くことを通じてやりがいや成長を感じられる組織であることを目指してまいります。

また、近年の気候変動やパンデミックなど、これまでに経験のない不確実な事態が頻発する環境においては、企業は絶えずビジネスモデルを変革し、生き残っていくため、多様な人財がそれぞれの経験・能力を活かし、活躍できる組織であることが重要であると認識しております。

社会貢献の取り組み

人工呼吸器(CPAP装置)キットの継続供給



英国G-TEM社は2020年3月より、英国政府の新型コロナウイルス感染症対策支援の一環として、ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン(UCL)が主催する人工呼吸器システム(CPAP)プロジェクトに賛同しております。

G-TEM社では工場の遊休スペースを活用し、製造で培ったノウハウを活かし、CPAP装置キットの部品集荷から組み立て、配送作業を行うことで公的医療機関への継続的な支援を行っております。



インドへ緊急支援

昨今のインドでの深刻な状況に対し、約1,200個のCPAP装置キットの緊急支援を行いました。

5月4日、英国BBCニュースに取り上げられ、G-TEM社 副社長Nick Thomas氏が出演し、当社の取り組みを紹介しました。



G-TEM社
公式Facebook

人財の多様性向上

社内環境整備

公正な採用選考

人種・国籍・年齢不問

平等な登用制度

年功・社歴にとらわれない
チャレンジ制度

ジョブ型処遇制度

高度な経験・スキルに
応じた処遇

2025年目標

新規雇用者
女性比率

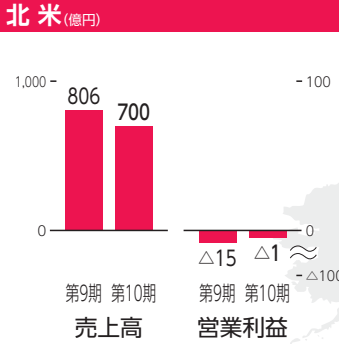
25%

女性管理職
比率

10%

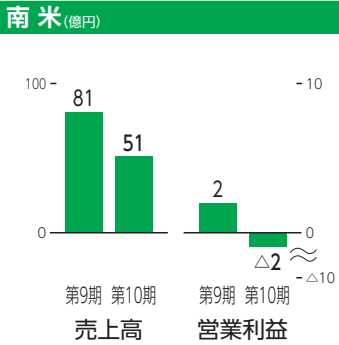
中途採用者
管理職比率

20%



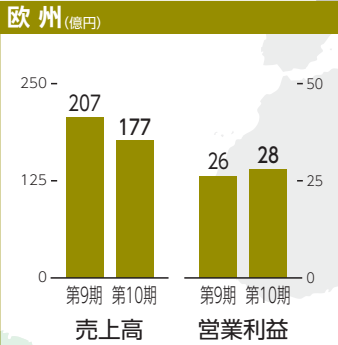
売上高は、第2～3四半期にかけて生産が回復した一方、第1四半期の工場操業停止や、第4四半期の寒波及び半導体不足による得意先の生産停止の影響で生産台数が減少し、70,043百万円（前期比13.1%減）となりました。営業損益は、75百万円の営業損失（前期は1,533百万円の損失）となりましたが、品質コストの減少等により、前期と比べ、損失は大幅に縮小しました。

売上高比率
31.5%



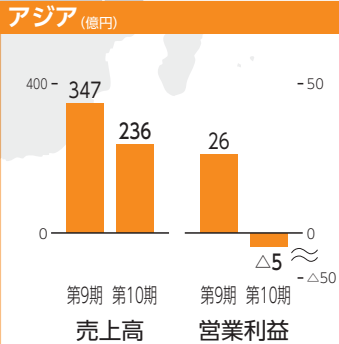
売上高は、第2四半期で生産が再開した一方、得意先の減産が影響し量産売上が減少したこと等により、5,140百万円（前期比36.7%減）となりました。営業損益は、製造費用等の削減を進めましたが、減収の影響が大きく、244百万円の営業損失（前期は226百万円の利益）となりました。

売上高比率
2.3%



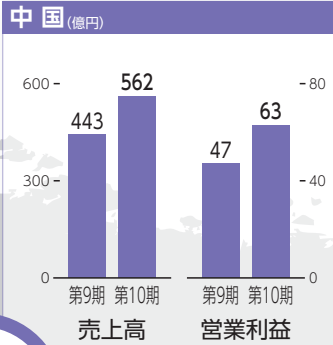
売上高は、本格稼働したスロバキア新拠点が量産売上が伸ばした一方で、イギリス拠点の生産台数減少の影響が大きく、17,680百万円（前期比14.5%減）となりました。営業利益は、増収効果やスロバキア拠点の黒字化、得意先の未償却補償及び英国政府の補助金等により、2,765百万円（前期比6.8%増）となりました。

売上高比率
8.0%



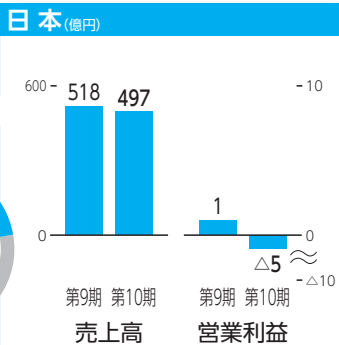
売上高は、コロナ禍から回復しつつありますが、機種構成の変化や、緩慢な生産回復により、23,593百万円（前期比32.1%減）となりました。営業損益は、減収の影響等により、499百万円の営業損失（前期は2,608百万円の利益）となりました。

売上高比率
10.6%



売上高は、旺盛な日系電動車需要に支えられ、量産売上の増加等により、56,185百万円（前期比26.9%増）となりました。営業利益は、増収効果により、6,335百万円（前期比34.1%増）となりました。第10期は、売上高・営業利益ともに過去最高となりました。

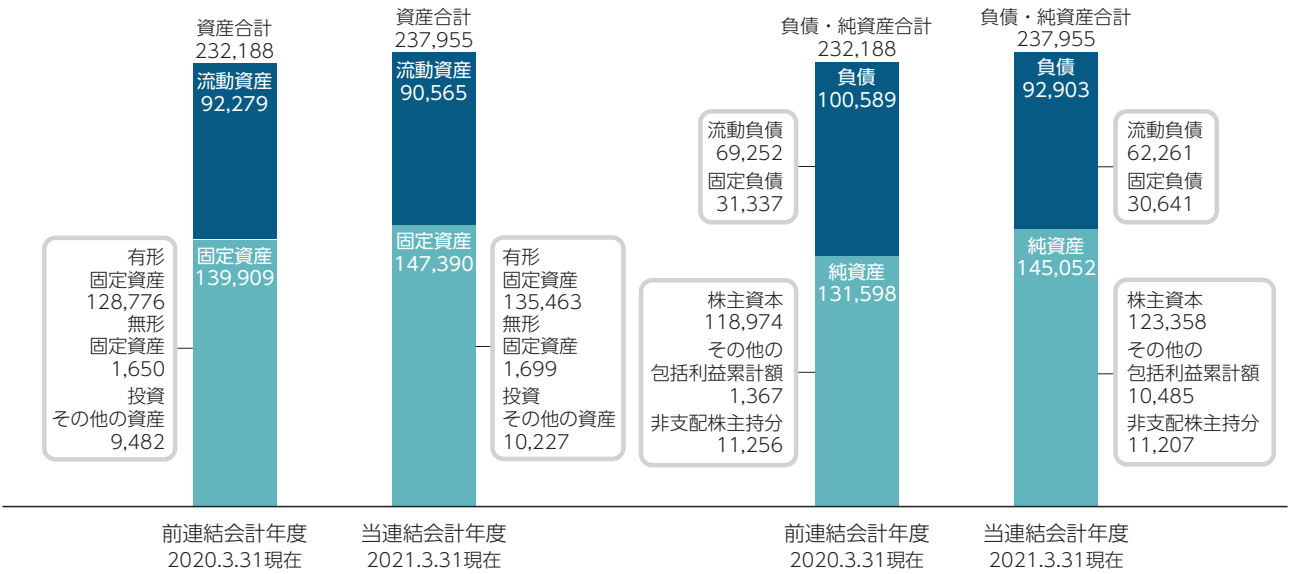
売上高比率
25.2%



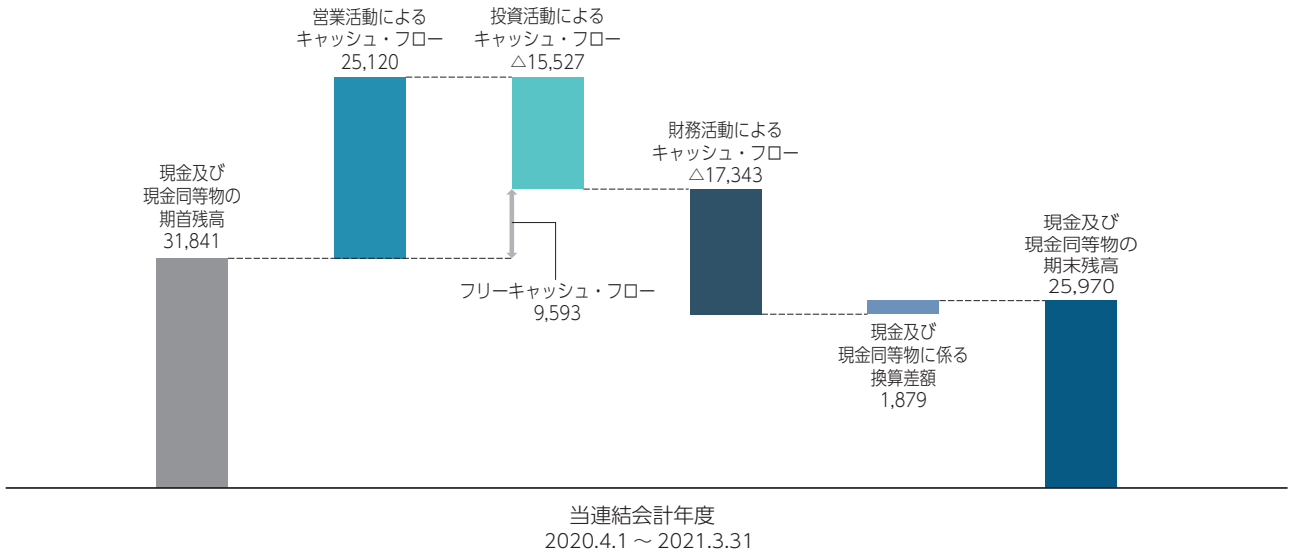
売上高は、生産が第3四半期に回復した一方、第1四半期、第4四半期の減産及び機種構成変化の影響による量産売上の減少等により、49,712百万円（前期比4.0%減）となりました。営業損益は、減収の影響や海外ロイヤルティの減少等により、500百万円の営業損失（前期は146百万円の利益）となりました。

売上高比率
22.4%

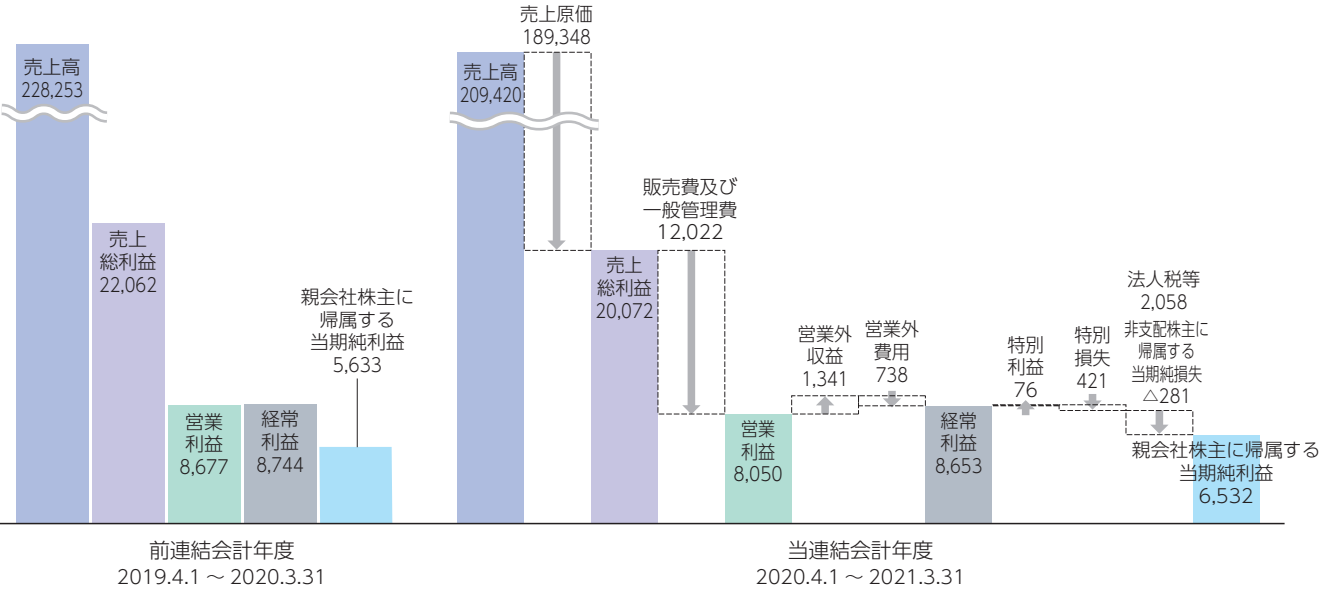
連結貸借対照表 (要旨) (百万円)



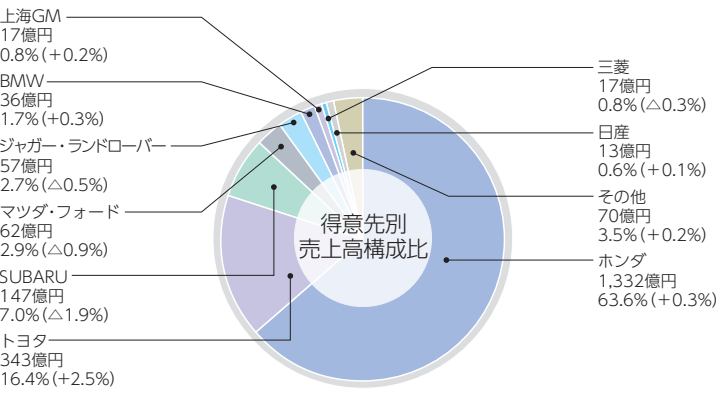
連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨) (百万円)



連結損益計算書 (要旨) (百万円)



得意先別売上高構成比



※ () 内の数値は、対前期の構成比増減を表しています。

ホンダ様は、63%と前期並みとなりました。トヨタ様は、中国で前期と比べ増加した結果、シェアが16%超に拡大しております。SUBARU様は、北米・日本とも生産が減少しました。マツダ・フォード様は、アジアの生産減少が影響しています。欧州系カーメーカーは、BMW様向けに欧州で売上が拡大しました。

●会社概要 (2021年4月1日現在)

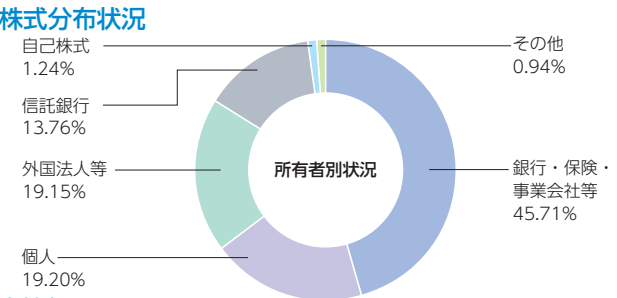
■社名	株式会社ジーテクト
■創業	1947年4月1日
■設立	1953年11月4日
■資本金	4,656,227,715円
■代表取締役社長	高尾 直宏
■事業内容	車体部品、トランスミッション部品の製造販売、金型・溶接設備等の製作販売
■拠点	国内9拠点、アメリカ5拠点、カナダ1拠点、メキシコ2拠点、ブラジル1拠点、イギリス4拠点、ドイツ1拠点、スロバキア1拠点、中国6拠点、インド1拠点、タイ4拠点、インドネシア1拠点

●取締役及び監査役 (2021年4月1日現在)

代表取締役社長 社長執行役員	高尾 直宏	
取締役	石川 美津男	
取締役 専務執行役員	吉沢 勲	事業管理本部長、 コンプライアンスオフィサー、コーポレート部長
取締役 常務執行役員	瀬古 浩	技術本部長
社外取締役	大胡 誠	弁護士
社外取締役	稲葉 利江子	津田塾大学 准教授、理学博士
※石川美津男氏は第10回定時株主総会をもって、取締役を退任する予定です。 ※第10回定時株主総会をもって、廣瀧文彦氏が取締役役に就任する予定です。		
常勤監査役	中西 孝裕	
常勤監査役	田村 依雄	
社外監査役	新澤 靖則	税理士
社外監査役	北村 康央	弁護士

●株式の状況 (2021年3月31日現在)

発行可能株式総数 100,000,000株
発行済株式総数 43,931,260株
株主数 11,512名



大株主 (上位10名 敬称略)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
本田技研工業株式会社	13,035,098	30.04
BBH FOR FIDELITY PURITAN TR : FIDELITY SR INTRINSIC OPPORTUNITIES FUND	2,918,382	6.73
菊池俊嗣	2,225,901	5.13
株式会社ケー・ピー	2,200,800	5.07
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,194,515	5.06
TKホールディングス株式会社	2,194,344	5.06
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,729,800	3.99
高尾直宏	1,286,576	2.97
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	825,729	1.90
RE FUND 107-CLIENT AC	682,400	1.57

(注)持株比率は、自己株式545,086株を控除して計算しております。

株主メモ	
事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主 確定日	3月31日
中間配当金受領株主 確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 TEL.0120-232-711(通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所(市場第一部)
公告の方法	当会社の公告は、電子公告により行います。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

●「株主様アンケート」

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

前回実施のアンケートに、1,459枚(回収率14.0%)のご回答をいただきました。お忙しい中ご協力いただき、誠にありがとうございました。
(調査期間 2020年11月27日～2021年1月8日)

241名の株主様から「ご意見・ご感想」をいただきました。全件を4月23日の取締役会に報告し、配当政策やEV関連事業について議論を行いました。

皆様からの主なご意見・ご感想

【株価・業績・配当・優待について】

●株価上昇、業績回復に期待します。

●連続増配、株主優待を継続してほしいです。

【将来の展望について】

●長期的視点での展望を示してほしいです。

●EV分野で成長していけるのか知りたいです。

●EVの部品提供による成長に期待します。

【情報発信について】

●ESG情報の発信を強化してほしいです。

【その他】

●新型コロナウイルスの感染収束後、個人投資家向け会社説明会や工場見学会等を再開してほしいです。

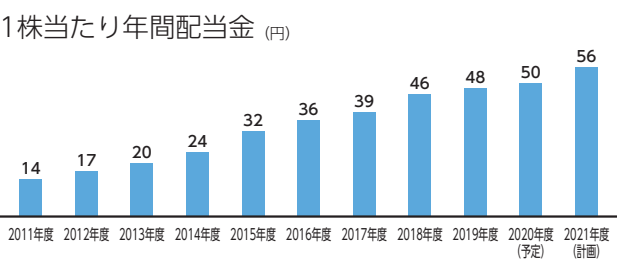
●コロナ禍に負けず頑張ってください。応援しています。

●株主還元

10周年記念配当の実施

2021年3月期の期末配当金は、期初予想通りの1株当たり25円とする議案を上程しています。その結果、年間では中間配当金25円と合わせ、前期比2円増配の1株当たり50円となります。

当社は、2011年に旧菊池プレス工業(株)と旧高尾金属工業(株)が合併し、ジーテクトとして10周年を迎えました。10周年の記念配当を中間・期末配当金ともに1株当たり3円とし、年間では前期比6円増配の、1株当たり56円を予定しています。



※2014年4月1日付で、普通株式1株につき2株の株式分割を実施しているため、2011年度から2013年度までの1株当たり配当金は株式分割考慮後の数値を記載しています。

株主優待

株主様の当社株式の保有状況を考慮し、長期間、また、より多くの株式を継続的に保有していただいている株主様のご支援に因應するため、継続保有期間に応じて、最大4,000円相当のクオカードを贈呈いたします。

継続保有期間	保有株式数	
	100株以上 500株未満	500株以上
1年以上2年未満	1,000円相当の クオカード	2,000円相当の クオカード
2年以上3年未満	2,000円相当の クオカード	3,000円相当の クオカード
3年以上	3,000円相当の クオカード	4,000円相当の クオカード